

第1部 地域の将来像

令和2年10月に策定された広島県の総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」では、基本理念を「将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、住み、働いてよかった』と心から思える広島県の実現」とし、目指す姿を「県民一人一人が『安心』の土台と『誇り』により、夢や希望に『挑戦』しています～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～」としています。この目指す姿の実現に向けて、新たな社会潮流などを踏まえ構築した「17の施策領域」により、それぞれの施策を連関させ、相乗効果を生み出しながら、取り組みを総合的に推進していくこととしています。

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」が目指す県土の将来像を実現するための社会資本マネジメントの基本方針として策定している、令和3年度を始期とする「社会資本未来プラン」では、目指す姿を「県民が様々な場面（平時から非常時に至るまで）において、『安全・安心』や『サービス（利便性・快適性・生産性）』等の向上を実感できる社会」とし、「安全・安心な県土づくり」「県の強みを生かした県土づくり」「魅力ある持続可能な県土づくり」の施策を設定し、各分野における将来像を次の通り設定しています。

図表 本県の将来像と道路に係る関連計画

安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン (令和2年10月策定)

【基本理念】 将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

広島県社会資本未来プラン (令和3年3月策定)

▼広域道路に係るあるべき姿

施策	将来像
安全・安心な 県土づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○激甚化する気象災害や巨大地震による社会経済活動への影響を最小限とするため、近年発生した浸水被害を解消するための治水対策や、防災拠点などの災害時に重要となる施設を保全する土砂災害対策、県内全域の緊急輸送道路の法面対策など、より効果的かつ効率的なハード対策による事前防災が着実に進んでいます。 ○さらに、ハード対策のみではあらゆる災害を防ぎきることはできないという認識に立ち、平時から地域住民や関係者と協働した災害リスクの共有や避難体制の強化を図るとともに、デジタル技術を活用した精度が高い防災情報を個々の状況に応じて取得することができ、自ら適切な避難行動をとるなど、的確な備えや行動が当たり前の状態となっています。
県の強みを生かした県土づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○県内経済の発展や地域の活性化に繋がる、国道2号バイパスをはじめとした幹線道路の整備による広域道路ネットワークの形成や、船舶の大型化に対応した岸壁の延伸、コンテナふ頭の拡張や臨港道路の整備、東南アジア諸国をはじめとする航路の拡充などにより、企業活動のグローバル化や生産性向上に資する最適な物流ネットワークが構築されています。 ○さらに、広島空港の航空路線の拡充や、広島港におけるクルーズ客船の安全で快適な寄港環境の整備など、ビジネスや観光、日常生活において、それぞれの目的に応じた最適な交通ネットワークにより、便利で快適な移動ができ、国内のみならず世界との交流や連携が活発に行われています。
魅力ある持続可能な県土づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域特性や規模に応じた拠点ごとに必要となる機能の集約や、土砂災害警戒区域等の災害リスクの高い区域から低い区域への居住の誘導が進むとともに、区画整理事業と一体となった連続立体交差事業の推進などによる円滑で安全な交通の確保や、最適な公共交通ネットワークの構築が進み、利便性が高く、安全・安心な生活を支えるまちづくりに県内全域で取り組んでいます。 ○さらに、集約された各拠点においては、デジタル技術を活用した便利で質の高い様々なサービスを提供するための取組が各市町において展開されるとともに、地域の歴史的資源やオープンスペースなどの利活用により、地域の特色を生かした賑わいや住み続けたいような魅力のある居住環境が創出され、快適でゆとりのあるライフスタイルを支える基盤が形成されています。

広島県 広島県
広域道路整備基本計画 (平成10年策定)
広域道路交通ビジョン・計画 (今回策定)

広島県道路整備計画 2021 (令和3年策定)